事業所名

学園町学童デイホーム遊園

支援プログラム

作成日

2025年

1月

20日

法人（事業所）理念		～子どもの今と未来を豊かに～ 子ども時代の体験や心の持ち方は、人生の礎となります。私たちは、やさしさと頑張る気持ちを伝えることで、子どもたちの今と未来を豊かにしたいと考えます。社会に根差した、たくましい子に育てます。	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・大切な子どもの時期をあたたく見守り、のびのび育てる ・先生、友だち、自然や伝統行事との豊かなふれあいを持つ ・子どもたちがありのままの姿を出せる環境づくりを大切にする 	
営業時間		平日10:45～19:30 土曜日8:45～17:30 長期休暇8:45～18:45	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	生活リズムや生活習慣の形成が行えるよう、決められた時間を守ったり、自ら時計を見て行動できたりする力を養えるよう声掛けを行う。集団生活の中で一斉に行動できるよう指示を聞き、行動の切り替えを行う力を身に着けるために、個別への声掛けや視覚的なツールを活用する。手洗いや掃除、衣服の管理や調整、荷物の整理整頓などの基本的な生活スキルの獲得ができるよう、個々の課題に沿った支援を行う。	
	運動・感覚	子どもが保有する視覚、聴覚、触覚の感覚を十分に活用できるようあそびを通して支援する。公園活動や筋トレ、ダンス、サーキットなどの粗大運動に関するプログラムや、感触あそび・手先指先を使った微細運動のプログラムを実施する。また体幹が不安定な児童や姿勢保持が困難な児童については、普段座る椅子に工夫を行う。	
	認知・行動	認知の発達と行動の習得を行うために、認知の偏りやコミュニケーションの困難さが生じた場合に、適切な行動へ転換できるよう大人が介入し支援する。空間・時間・数等の概念形成を習得するために、座席表や予定のスケジュールなど、児童一人ひとりが分かりやすい環境構成を行う。	
	言語コミュニケーション	気持ちの表出や出来事の説明、他者へ伝える力を形成するために集団やその場に合った小集団の場を設定し、基礎的なコミュニケーションの能力が向上するよう支援を行う。また非言語コミュニケーションでのやりとり（指差し・ジェスチャーなど）も活用し、他者へ伝える適切な手段のスキル向上も行う。読み書きを活用したあそびを取り入れ、語彙力の向上を行ったり、他者にインタビューを行うあそびを通して相手へ発信する力や相手の話に耳を傾ける力を養ったりする。	
	人間関係社会性	あそびや普段のやりとり、気持ちの共感など一人ひとりにあった関わりを行うことで他者と信頼関係を築いていくことができるよう寄り添っていく。自身に湧き起こる感情に気づき、言語化することで、他者へ適切な行動の働きかけが行うことができるよう支援する。一人あそびから小集団、小集団から大集団へと、個々の成長に合わせた環境下で活動への参加を促していく。	
家族支援		子どもの障がい特性に配慮し、安定して子どもが日常生活を送れるように適切に助言をしたり、アタッチメント形成が行えるようにしていく。	移行支援 地域での活動ができるように学校等と情報共有や支援方針の確認を図り支援を行っていく。円滑に地域への活動に移行できるように進めていく。
地域支援・地域連携		学校、子育て支援機関、医療機関、地域行政機関との連携を深めるなど子どもが地域全体で適切な支援を受けられるようにしていく。	職員の質の向上 支援に関する定期的な専門的研修やOJT研修を進めて支援の質を担保していく。また、定期的なケースカンファレンスを実施して職員のスーパーバイザー機会も保証していく。
主な行事等		おでかけ、クッキング、季節の行事（ハロウィンイベント・クリスマス制作など）、買い物、こども園交流、学童保育交流	